

船舶事故等調査報告書

平成22年11月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第133号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年5月24日 09時20分ごろ	
発生場所	大分県大分市大分港鶴崎泊地 大分港鶴崎東防波堤灯台から真方位169° 1,450m付近 (概位 北緯33° 16.0′ 東経131° 41.1′)	
事故等調査の経過	平成22年8月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 <small>ほうようまる</small> 豊洋丸、748トン	
船舶番号、船舶所有者等	134726、日宣汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船尾船底外板塗装剥離	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか6人が乗り組み、船首約1.5m、船尾約3.3mの喫水で、大分港鶴崎泊地の新日本製鐵化学3号棧橋に着岸作業中、平成22年5月24日09時20分ごろ、船尾船底に軽い衝撃を感じた。</p> <p>本船は、船体、機関、そのほかに異常がなかったので積荷を完了して通常の航海を続けた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風力 5</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>本船は、着岸作業中、西風が強くて船尾が陸岸に近づいたので機関を使用して態勢を立て直した。</p> <p>着岸予定の3号棧橋の陸岸側は、水深が約1.8mであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、大分港鶴崎泊地において着岸作業中、西風に圧流され、船尾が棧橋付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、大分港鶴崎泊地において着岸作業中、西風に圧流されたため、棧橋付近の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	